

東京女子医大病院
午後立ち入り検査

心臓手術ミスで

東京女子医大病院(東京都新宿区、林直諒院長)で昨年三月、心臓手術を受けた患者の女兒(当時十二歳)が死亡した医療事故で、厚生労働省と東京都は九日午後、同病院に立ち入り検査に入る。

同省と都は昨年十一月、定例の立ち入り検査を行ったが、この時、病院側から事

故について報告はなかった。病院側は、先月末に事故が発覚した後になって、同省に事実関係を報告した。

女子医大小児心臓手術事故
厚生、女子医大へ立ち入り検査
2002年1月9日 読賣新聞夕刊